# ドイ Report Vol. 104

**Jan**. 2018















- たすけあい広場 「災害が起きたらどうなるの?」
- 難民問題の基礎知識
- バーバラさん滞在記
- 多文化の部屋 「素敵な姉妹都市カーメル」
- カーメル市アートフェスティバル帰国報告
- ●多文化の部屋 「中国のお話・中国のお菓子でお茶しよう」
- コンニチハ!日本語サロンです
- インドネシア・フェスティバル



# 災害が起きたらどうなるの?



ワークショップ:(株) NTTドコモ

講評:紅谷昇平氏

11月19日 市民交流センター イベントホール



### ■災害が起きたらどうなるの?

「たすけあい広場」では、外国人の皆さんといっしょに、災害などが起こったときの対処方法などを学んできています。今回は、危機管理教育研究所代表、危機管理アドバイザーの国崎信江さんに「災害が起きたらどうなるの?」と

いうテーマのお話を伺いました。会場には 50 名を越える参加 者が集まり、約半数は15 カ国からなる外国をルーツに持つ方た ちでした。

国崎先生は、実際に災害の起きた現場での支援活動にも携わっておられ、具体的な例を体験談やビデオ映像などで紹介してくださいました。1995年の阪神・淡路大震災の再現ビデオでは、建物や高速道路が崩壊していく様子が生々しく映し出され、当時の記憶がよみがえりました。また、2016年の熊本地震で崩れて1階が押しつぶされた家々の写真からは、地震のときには1階にいることがいかに危険なのかがわかりました。

皆さんは、家具の固定などされていますか?背の高い家具は、地震で揺れて倒れると危険ということで、固定されている方も多いと思います。ところが、ビデオで見せていただいた状況から、実は低いから安心とあえて固定していないテーブルや椅子、机の上のもの、置物などほとんどすべてのものが、強い地震の揺れに襲われたときは、部屋中を動き回り、あたかも凶器のように人間を襲ってくるのです。常識のように思われている、「地震のときはテーブルの下に」などということは、全くの迷信ということが、よくわかりました。状況によりますが、大きな地震の時、家の中は危険です。できるだけ外に逃げます。しかし、外もこわれたガラスや瓦や倒れてくる壁など危険はいっぱいです。あらかじめ家の中や外でどんな危険があるのか認識し、どう対処するか日頃から考えておくことが大切と感じました。

ワークショップでは「我が家の防災マニュアルを作ってみよう」というテーマで、家族との連絡方法や待ち合わせ場所など、各自考えて記入していきました。皆さん真剣に考えていましたが、何を持ち出さないといけないのかなど、具体的に書き出すのはかなり難しく、大阪府警から提供されたチェックリストはとても参考になりました。

## ■河内長野発信ピクトグラムの導入

後半では、NTTドコモの皆さんから、エリアメール(緊急速報メール)の紹介と、当協会のアイデアも盛り込んで開発に当たられた、エリアメールへのイラスト(ピクトグラム)導入についてお話がありました。実際にデモ用のスマートフォンで地震や津波のエリアメールを受信して、イラストが表示されるのを見ました。ひと目で地震、津波ということがわかり、外国人だけでなく日本人にとってもとてもわかり易いことを実感しました。

## **■**ワールド・スタンダードへ

最後に兵庫県立大学の紅谷昇平先生に講評をいただきまし



た。紅谷先生は、留学生たちから緊急速報について質問を受け、日本語がわからない人にとっては、情報が全く伝わらないことを感じていらっしゃいました。そのため KIFA の活動に常に関心を持っておられ助言などもいただいてきました。イラストを入れる方式は国内標準化に向けて活動されていくようですが、日本だ

けでなくワールド・スタンダードになるべきものと、高く評価 をいただきました。

河内長野で取り組んだことが、災害時の対策に向けて小さい ながら協力できたことは、参加してきた全員にとって大きな喜びです。

## ~エリアメールへのピクトグラム導入の実現まで~

「緊急速報が鳴った!」「スマホに出てきた文字を見た」「もっと詳しく見ようとしたが、あわてていたので、うまく見られなかった」「日本人でも難しい。外国人にわかるだろうか」「大切な情報を日本語の不自由な外国人にも届けたい」「誰でも一目でわかるようにしてあげたい」こんな思いを持ち続けた3年間。災害の専門家である紅谷昇平先生、大阪管区気象台の皆さん、そしてNTTドコモさんに繋がるまで、様々なプログラムを企画実施してきました。エリアメール(緊急速報メール)へのピクトグラムの導入までには多くの方々の協力がありました。

地方の小さな国際交流協会の提案を真摯に受け止め、一緒になって真剣に取り組んでくださっ

た専門家の皆さんとは、「日本語の不自由な外国人のためにガンバル!」をキーワードに繋がることができたと思っています。皆さん本当にありがとうございました。





## 難民問題の基礎知識

# 25<sup>th</sup>

# ~難民ってどんな人たち?~





KIFA 設立 25 周年記念講演会の テーマは、時代のキーワードの一つ である「難民」。

講師は、政府の委託のもと難民の 方の定住促進をサポートする「アジ ア福祉教育財団難民事業本部」関西 支部長代行の中尾秀一さんです。

難民ってどんな人たち?実は「唯一絶対の難民の定義はないんです」という前提のうえで、中尾先生は難民を表す3つのポイントを教えてくださいました。< 迫害 >< 国外 >< 保護なし>の3つです。ここでワークショップのケースを例にご紹介します。「政府を批判する新聞を発行したために弾圧を受け、国外へ逃れた人」これは難民に当てはまるでしょうか。答えは〇。

政治的な < 迫害 > を受け、自国で < 保護 > が受けられず(または望まず)、 < 国外 > へ逃れたからです。 では、「自国が貧しく慢性的に食料が不足しているため、よりよい暮らしを求めて外国へ移った人」は どうでしょう。これは < 迫害 > を受けたわけではないため難民には



当てはまらず、移民と呼ばれます。なお、原則では戦争で逃れてきた人は難民からは外れますが、現在は「迫害」のほか「武力紛争」から逃れてきた人も難民と捉えられます。

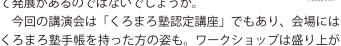
続いてのワークショップでは、各テーブルを1つの家族とみなし、「難民として逃げるなら何を持っていく?」かを考えてもらいました。多く挙がった答えは、現金、食料、水、貴金属、薬など。情報収集用のラジオや携帯・スマホという意見もありました。これも唯一の正解はなく、実際に持って逃げるものは家族構成や紛争状態の長さ、季節などによって様々だそうです。先生のお話によると、「飲み水は重くて持ち歩けないので現地調達が基本」「父親は畑を守るため家に残り、母子だけで他国に逃れる家族も多い」など、過酷な実情がうかがえました。



日本には今、約12,000人の難民の方が暮らしています。その多くは、社会主義体制への移行時代にベトナム、ラオス、カンボジアから逃れてきたインドシナ難民です。現在も様々な国の人が受け入れを求め、2016年の1年間で日本に難民申請した人の数は約1万人にのぼりますが、認定者は30人足らずです。認定率があまりに低いこと、申請から1次審査だけで平均8.5ヶ月かかることなど、多くの課題があります。また、認定されるとRHQ支援センターで4ヶ月の日本語教育を受け、種々のサポートのもとで定住を目指しますが、住居や働き口を見つけるのは簡単ではありません。難民サポートの最前線にいる中尾先生のお話からは、状況が少しでも改善されてほしいという気持ちが伝わってきました。

1970年代、当初は一時滞在しか認めなかったインドシナ難民を日本政府が受け入れ始めた背景には、国内で「難民を受け入れよう」という声が高まったことが大きかったそうです。

ところが今、「シリア難民を受け入れよう」という声はなかなか聞こえてきません。もし現代の難民問題についても日本国内で関心や共感が高まれば、支援に向けて発展があるのではないでしょうか。



り、質問も活発で「学びたい」「難民について理解を深めたい」という意欲にあふれた講演会となりました。





## Memories of Kawachinagano

## 河内長野の思い出

~7 Days with Friends!~

10月24日の夕刻、伊丹空港にバーバラ・モジャーさんが到着。お迎えに行って いた私たちは、歓迎の旗を持って駆け寄り、5年ぶりの再会を喜びあいました。

バーバラさんは、河内長野市の姉妹都市、アメリカ インディアナ州カーメル市 の姉妹都市委員会の会長で、日本への訪問は今回で 17 回目。一人旅ですが、航空 会社の車椅子のサービスを利用したので、乗り継ぎ時のゲート移動、荷物の受け 取りや通関、パスポート検査もスムーズにできたとか。バリアフリー対策のシス テム、なかなか良さそうです。

個人としての旅行のはずが、バーバラさんが来られるとなると、「会いたい」と いう方々が次々と現れました。

25 日は河内長野市長島田氏と歓談し、バーバラさんからはカーメル市の近況、 島田市長からはこれからの姉妹都市交流についてのビジョンなどをお伺いしまし た。歓談の後、市役所やくろまろの郷では、昔からのお友達と再会することがで きました。夕刻からは、バーバラさんの歓迎会が開かれ、50人を超える人達が集 まりました。市長をはじめ市役所関係の方々、長年姉妹校交流を続けている清教 学園関係のみなさん、KIFA の理事をはじめとする関係者、そしてカーメル国際アー トフェスティバルで、バーバラさんに直接お世話になったアーティストの皆さん など、お互いには初対面でもみなバーバラさんを通じてお知り合いという関係で す。ひとりひとりが短い挨拶をしましたが、特にアーティストのみなさんが口を 揃えて、バーバラさんや姉妹都市委員会の皆さん、そしてホストファミリーをし てくださったマイヤーズご夫妻の温かいおもてなしに、感謝の言葉を述べていらっ しゃったのが印象的でした。毎年毎年、同じように暖かく迎えてくださり、優し く面倒を見てくださったことは、アーティストをはじめカーメルを訪問したこと のある人々にとっては、一生の思い出です。市の国際交流の担当課の方たちから 実は 20 年位前の学生時代に、バーバラさんのお宅でホームステイしたことがある という新しい情報も飛び出しました。バーバラさんはスピーチの中で、インディ 500 のレースで 2017 年に優勝した日本人、佐藤琢磨さんの言葉を引用して、交流 を通じて、家族も含めて、みな友だちになっていることを述べられました。会場 に集った人々にとっては、まさにそれを実感できるひとときになりました。

あべのハルカスへ行って買い物をしたり、以前、交流の一環でカーメル市を訪 れた消防署の方にお会いして、新しい消防署を見学させていただいたり、清教学 園のみなさんと出かけられたり、毎日が忙しく過ぎていきました。

10月28日には多文化の部屋「素敵な姉妹都市カーメル」のゲストとして招かれ ました。当日は2017年度のアーティストの帰国報告会を兼ねていて、参加者は、アー トフェスティバルやカーメルの写真を見ながら、アメリカ気分にひたりました。

7日間にわたり、いつも友人たちに囲まれて、楽しくお話をされていたバーバラ

さん、感謝の言葉を受けるたびに、ご自身も感動さ れて、この経験をどうカーメルの人たちに伝えよう かと思っていらっしゃったようです。カーメル市と

の姉妹都市交流は、 2019 年に 25 周年を 迎えます。常に日本 とアメリカのパイプ 役となって交流を支 えてこられたことに、 心より感謝したいと 思います。







## 素敵な姉妹都市カーメル

10月28日 市民交流センター



ゲスト:バーバラ・モジャーさん、松尾 斉子さん (陶芸)、河端 洋史さん (ガラス工芸)

「多文化の部屋」第7回はバーバラ・モジャーさんとアーティストの松尾さん、河端さんをお迎えして、カーメルの今をお話しいただき、交流を深める会となりました。

#### ■24年目の姉妹都市

カーメル市は治安の良さや行政サービス、都市開発などが高く評価され、これまで「アメリカで生活するのに最も良い場所」や「若い家族にとってのベストタウン in Indiana」などに選出されてきました。2017年には、「アメリカで最も住みやすい都市」1位に選ばれています。(ウォールストリート調査 2017.7.24)

図書館やフィットネスセンターなど、市民が日々利用する施設はとても広く、設備が充実しています。2011年には、優れた音響設備を備えたコンサートホール「パラディウム」がオープン。また、「パブリック・アート・プロジェクト」など生活の中で芸術を感じられる街づくりにも力を入れています。

### ■カーメルの日本庭園は今

カーメル市庁舎の裏には、河内長野市が数寄屋門や石灯籠を 寄贈した日本庭園があります。姉妹都市提携 15 周年記念に竣工 したこの日本庭園は、今も市民の憩いの場として大切にされ、結 婚式場として使われることもあるそうです。20 周年を迎えた 2014 年、「Kawachinagano Japanese Garden」と名付けられました。

### ■目覚ましい発展の理由は?

近年人口も急速に増加し、発展が目覚ましいカーメル。参加者の方から「姉妹都市提携時から人口が 2 倍以上に飛躍的に増えましたが、その要因はなんですか?」というご質問がありました。バーバラさんは、「住みやすい街として評価されていることと、ビジネスに良い環境をつくって企業を積極的に誘致していることが発展につながっていると思います」と答えられました。

## ■「カーメル市国際アートフェスティバル」帰国報告会

アートフェスティバルに今年参加してこられたお二人には、実際にカーメル市での経験を滞在中に撮影した写真と共に語っていただきました。

お二人のホームステイ先は一戸建てで、広い庭にはリスが来る そうです。近くに朝陽がとても綺麗に見えるスポットがあり、河端 さんは毎日写真を撮りに行ったとか。

滞在中、見学に訪れた総合大学はキャンパスが絵葉書のようにおしゃれ。ガラスや陶芸のコースがあり、設備は充実していてろくろや窯もあります。大学までの道中、周りを走る車が大きいことと、車窓から見えるとうもろこし畑や大豆畑が広いことが印象的だったそうです。

最後は、バーバラさん、松尾さん、河端さんと皆さんのフリートーク。カーメルのことを尋ねたり、アートについて情報交換をしたりと、楽しく有意義なひとときとなりました。カーメルとの姉妹都市交流が、より広く深い交流を生んでくれたと思います。

## アートフェスティバルに参加して

アメリカ本土は未経験で、銃を持つ人々が暮らす国、日本より 治安が悪い国、そのようなイメージを持ったままの入国となりま した。

カーメル市は驚くほど公共設備が充実し、とても美しい街でした。住宅地には広い池があり、そこには噴水があります。景観への配慮かと思ったら、それは排水の悪い土地に家を建てるための工夫で、水が溜まる場所をわざと作っているそうです。その池が景観上も美しく、涼しげな印象でした。

滞在中に、ボールステイト大学を訪ねました。ガラスのコースと、陶芸のコースがある芸術系学科を備えた総合大学で、広く、活気のある学校でした。大学へ行くまでの道中は、豆ととうもろこしの広大な畑の広がる美しい平野が続いていました。時折、馬や牛が見え、そのたびに歓声をあげてしまいました。運良く、見たことのない巨大トラクターがとんでもない土埃をあげながら収穫作業を行っている光景を見ることができました。あぁ、なんて広いんだろう…何度もその広さに感嘆しました。

カーメル市はアートで町おこしをしているそうで、ギャラリーやレストランが立ち並び、あちこちに彫刻が置かれたメインストリートは美しく、おしゃれです。ここでアートフェスティバルが開催されました。なるほど、これは素晴らしいアイデアです。河内長野市も姉妹都市から取り入れられる所がたくさんあると感じました。

松尾 斉子さん / 陶芸

※誌面の都合により抜粋して掲載しています。 全文はホームページで公開しています。

アートフェスティバルの 2 日間は真夏が戻ってきたような晴天 で、道幅が広いこともあり、犬を連れたお客さんなども来て、ゆっ たりとした雰囲気でした。

人々の印象は、目が合うと「ハイ!」と気軽に声をかけ、スーパーで手の届かないところにある商品を取ろうとしていると、知らぬ間に近くに来て「これ?取ろうか?」と声をかけてくれます。飛行機でも背の低い私は荷物を取るのにシートに乗らなければならないのですが、「この荷物あなたの?」と、声をかけ、取ってくれました。

私のイメージしていたアメリカとは大きく違うアメリカがここにはありました。

今回の経験で、アメリカへの考えが 180 度変わりました。 また新たな作品を作って、広大なアメリカへ行って たいた思います。





## 第5回 中国のお話 第6回 中国のお菓子でお茶しよう

ゲスト: 劉 麗さん 9月6日、20日 市民交流センター

■ 医療通訳やコミュニティー通訳でご活躍の劉 麗さんをゲス トにお迎えしました。中国は古代より日本とは深いつながりのあ る国、広大な国土に13億を超える人口、パンダに万里の長城、 同じ漢字圏ということもあり、なんとなく「わかっている」つもり になっていました。ところが劉麗さんのお話で一挙にミステリー ゾーンに迷い込む中国、その奥深さに驚き感動しました。

お話はクイズ形式で進んでいきました。まずは、中国について の○X 式雑学クイズを少しだけご紹介。皆さんはわかりますか?

- 1. 食事を出されて残すと失礼
- 2. 値切って買った衣類は、受け取ったら急いで支払って立ち去 る方が良い
- 3. 上海方言で喋ると北京の人は、2回聞かないと分からない 正解は、すべてX。日本では出された食べ物はきれいに食べる のが礼儀とされていますが、中国では残さず食べると足りなかっ たと思われ、さらに食べ物が出されるそうです。また、製品の品 質については、日本ほど保証されていないのも現実。不良品の 交換はまず受けてもらえず、ちゃんと調べて買わなかったお客の 自己責任。中国ではよーく調べて納得してから買いましょう。 中国は広いので、方言の違いは日本の比ではなく、言葉の用法 から発音まで全く違うのだそうです。北京の人は上海方言を 「2回聞かないと分からない」ではなく、「100回聞いても分から ない」のだとか。ただ最近はテレビなどのメディアでは標準語を 使うので、意思の疎通は離れた地域間でも取れるようになってき ているそうです。

後半は中国語クイズ。漢字は同じでも意味は違う例を 教えていただきました。「老婆」は奥さんのこと。なんで「老」 な訳?一方、旦那さんは「丈夫」。そりゃ、丈夫な旦那さ んの方がいいですけど・・・「愛人」には、不倫の意味 は全くなく、自分の奥さんや旦那さんのこと。「手紙」は トイレットペーパーのこと。間違っても 中国人の友人に「手紙」を送るなどと 書かないことです。「背徳鸡」「超市」は、 それぞれ「ケンタッキー」と「スーパー マーケット」の当て字です。では、「麦 当労」は何でしょう?

時々飛び出す劉麗さんの流れるよう

な中国語も聞きながら、日本で「あなた中国人だから、烏龍茶ど うぞ」と言われて飲んだのが生まれて初めての烏龍茶だったなど、 楽しいエピソードもいっぱいの、あっという間の 1 時間半でした。 (「麦当労」はマクドナルド)

■ 第6回の多文化の部屋は、引き続き劉麗さんにお話しをし ていただきました。今回は「中国のお菓子でお茶しよう」という タイトルで、ワイワイガヤガヤと中国のお菓子をつまみながらお 話をして、中国語にカバーされている日本の歌を歌いました。お 菓子は、本場中国のお味をご存知の劉麗さん厳選の菓子が一杯。 ピータンまであって、500円の会費で大丈夫?とちょっと心配にな るくらいの豪華さでした。

劉 麗さんが中国語の歌詞を用意してくださった日本の歌は、「里 の秋」と「蛍の光」です。ピンイン (pinyin) というアルファベット を使った発音記号も書かれていました。ローマ字読みすれば、そ れらしい発音になるかと思いましたが、全然違いました。日本語 は 51 音しかありませんが、中国語はなんと 405 個の発音に加え、 四声という声調の組み合わせで構成されているそうです。ピンイ



ンをマスターするだけでも大変そう です。さすが歴史のある中国。奥の 深さを再認識しました。

チャイナドレスも、ちょっと微妙な 関西弁も、とっても素敵な劉麗さん と楽しいひと時を過ごしました。

## ●日本語サロン スケジュール

月	曜日	日曜 Sun.	火曜 Tue.	木曜 Thu.
1月	Jan	14•21•28	16•23•30	18•25
2月	Feb	4•11•18•25	6•13•20•27	1•8•15•22
3月	Mar	4•18•25	6•13•20•27	8•15•22•29

<開講場所と時間> 日曜日 Sundays 14:00~16:00 千代田公民館 2階 火曜日 Tuesdays 10:00~11:45 市民交流センター(KICCS)3階 木曜日 Thursdays 18:00~20:00 ノバティ南館3階 ノバティホール

## ●語学クラブ スケジュール



コース		英語 フリー	英語	英語	スペイン語
		トーキング	(中級)	(初級)	(初級)
時間		14:00~15:30	19:00~20:30	19:00~20:30	19:00~20:30
開講日	1月	13	9•23	16•30	5•19
	2月	10	13•27	6 <b>•</b> 20	2•16
	3月	10	13•27	6•20	2•16

# ■外国人技能実習制度の基礎知識〜新たな外国人技能実習制度とは〜



国際交流協会 設立25周年記念事業

と き: 1月 13日(土) 14:00~16:00 ところ: 市民交流センター 中会議室

参加費:無料

定 員: 先着 50 名

申込み:1月9日(火)から電話・メールで受付

## ■フィリピンの学生とお茶しましょう!

と き:1月 19日(金) 13:30~15:30 ところ:市民交流センター イベントホール

参加費:無料

定 員: 先着 50 名

申込み:1月9日(火)から電話・メールで受付

## ■国際料理教室 ~韓国編~

昨年、好評だったキムチ作りをします。

と き:2月10日(土) 10:00~14:00

ところ:市民交流センター 食工房

参加費: 会員 1500 円、一般 2000 円

定 員: 先着 30 名

申込み:1月9日(火)から電話・メールで受付

## ■河内長野市国際交流協会 設立25周年記念式典・公演



国際交流協会 設立25周年記念事業

1994年に設立され今年度 25 周年を迎えた KIFA。 「グローバルな時代こそ、ローカルな国際交流を大切に」 新たな時代に歩を進めていきます。

日本、フィリピン、ペルーのゲストと共にお祝いします。

と き:1月21日(日) 10:00~12:30 (開場9:30)

ところ:市民交流センター 4階 イベントホール

参加費:無料

定 員: 先着 280 名

申込み:1月9日(火)から電話・メールで受付

### ■お詫びと訂正

KIFAリポート103号の4ページで台湾の人口に誤りがありました。 お詫びして訂正いたします。 (誤)約1300万人 (正)約2300万人

## ■ピアノ ロビー コンサート ~ポーランドの風~



国際交流協会 設立25周年記念事業

演 奏: ヴィトールド・ヴァルジゥキェヴィチさん

と き:2月9日(金) 19:00~20:30 (開場 18:30)

ところ: ラブリーホール 大ホールホワイエ

参加費:無料

定 員: 先着 100 名

申込み:1月9日(火)から

電話・メールで受付



## ■第 13 回日本語サロンオープンデイ

と き:3月11日(日) 14:00~16:00

ところ:市民交流センター 4階 イベントホール

参加費:無料

定 員: 先着 100 名

申込み:2月6日(火)から電話・メールで受付

## ■日本語サロン 日曜スタッフ募集!

地域在住の外国人の方に、ボランティアで日本語学習のサポートをしてくださる方を募集します。

#### 応募資格:

- ・河内長野市国際交流協会主催の「日本語ボランティア講座」、または他機関で日本語教育に関する講座を受講した経験のある成人の方。
- ・日曜日 14:00 ~ 16:00 のクラス【千代田公民館】に毎週参加できる方。

**募集人員**:若干名。応募者多数の場合は、抽選。但し選外となった方は、待機スタッフとして登録されます。(1年間有効)

応募が切り: 2月10日(金)

応募方法:電話またはメールで、国際交流協会事務局へ。住所、 氏名、電話番号と受講終了講座名または機関名をお伝えください。 \*日本語学習サポートに興味と熱意のある方大歓迎です。

(サロンの見学もできます)



年末・年始の休業について 事務局は12月28日から1月4日まで お休みとさせていただきます。

コース		中国語	韓国語	韓国語	韓国語
			(中級)	(初級)	(入門)
時間		19:00~20:30	13:00~14:30	10:40~12:10	15:00~16:30
開講日	1月	5•19	10•24	10•24	10•24
	2月	2•16	14•28	14•28	14•28
	3月	2•16	14•28	14•28	14•28

■問い合わせ・申込み■ 河内長野市国際交流協会(KIFA) 事務局

〒586-0025 河内長野市昭栄町7-1 市民交流センター(キックス) 3 階 TEL: (0721)54-0002

FAX: (0721)54-0004 EX—JV: office@kifa-web.jp

## コンニチハ!日本語サロンです

## 初めて小学生にふれて

ユーエン・ニューエン Ewen Nguyen (カナダ)

みなさん、こんにちは。私の名前は Ewen です。私はベトナム の両親から、カナダで生まれそだちました。2013年の6月から、 河内長野市に住んでいます。

日本にきてから、大人、高校生、中学生に英語を教えました。 そして 2016 年の 5 月から、私は小学生を教えることになりました。 今日は、小学生たちについて、私が気づいたいくつかの面白い 話をしようと思います。

まず、小学校では、生徒たちは多くの責任や必要な役割が与 えられていることに気づきました。6年生のような年上の生徒が、 1年生の面倒をみて、一緒に遊んであげていることは、私にとっ て今年の新たな発見でした。

二つ目は、私はクラスのとても強い団結力に気づきました。 生徒たちは、お互いにはげましあって、弱い生徒をサポートして います。クラスがさわがしくなると、一人か何人かの生徒が「し ずかに!!」と言いますから、先生がそうする必要がないのです。

最後に、たぶん一番あきらかなことですが、小学生はかわい いです。答えようとするのですが、いざ立ちあがると「わすれま した。」と言います。

それから、彼らは本当にジャンケンが好きです。個人的には、 まぁまぁなんですが、1年生と2年生は英語のジャンケンだけで、 一回の授業を過ごすことができます。Rock, scissors, paper, 123! Yaaaav! Rock, scissors, paper, 123! Yaaaaaav!

どうでしょうか。彼らがおどろくべき責任をあたえられているこ と、強い団結力をもっていること、そして彼らがおこなうことのほ

とんどすべては、なんらか のかたちでかわいいこと を、私は一年間の小学校 勤務で私は学びました。 とてもいい経験ができたと 思います。





## インドネシア・フェスティバル



昨年 KIFA とインドネシアの団体 が共催でおこなった「インドネシ アな1日」が好評であったため、 今年もインドネシアの団体が同国 の衣・食・音楽・舞踊を紹介す る「インドネシア・フェスティバル」 を開催。KIFA は、後援者として ミーゴレン、ナシゴレンの調理と 販売をお手伝いしました。会場 には在大阪インドネシア総領事ご 夫妻をはじめ、河内長野市長、 両副市長、KIFA会長の姿も。

10月21日(土) 市民交流センター イベントホール

ダンスワークショップでは、総領事ご夫妻もダンスに参加。会 場の皆さんと目と目を合わされ、にこやかに楽しんでおられるご 様子が印象的でした。当日こられたインドネシアの方々もとても フレンドリー。ゆったりとしたお国柄が伺えました。

并是并是并是并是并是并是并是并是并是并是并是



新年おめでとうございます。そして皆さま、はじめまして。2017年に広報部の新メンバー となりました、chihiroです。 始まりは 3 月の桜咲く頃、キックスの 1 階ロビーで KIFA リポート 100号を手に取ったのがきっかけでした。創刊100号記念、また設立25周年記念ということで、 各事業部の紹介記事が掲載されているのを読んだわたしは、「こんな色々な活動があるんだ」 「すごく国際色豊か!」と、河内長野にいながらカルチャーショックを受けてしまいました。



「わたしも仲間に入りたい」そう思って KIFA に入り、この一年足らずで出会った方は、アメリカ、 アルゼンチン、インドネシア、カナダ、ジョージア、スイス、スペイン、スリランカ、台湾、ネパール、 中国、フィリピン、ベトナム、ペルーと実に多国籍。英語も話せず、パスポートも持っていな



いわたしですが、国際交流の場は驚くほど身近にあったのですね。「国際フリーマーケット」 や「多文化の部屋」など、様々なイベントを通して、皆さんからそれぞれのお国や文化のこ http://www.kifa-web.jp/ とを肌で教わりました。そして何より、出会えて嬉しく、交流が楽しい! KIFA は本当に、国籍 も年齢も関係なく楽しみ、学び、助け合える場だと日々感じています。



KIFAの楽しいイベントや情報を いち早くお知らせします。 お申し込みは、事務局または、KIFA ホームページから。



皆さま、2018年もどうぞよろしくお願いいたします。KIFAを通して、素敵な出会いと絆が生まれますように。 chihiro